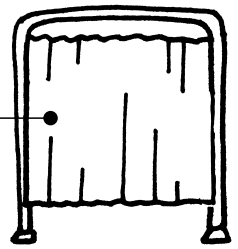
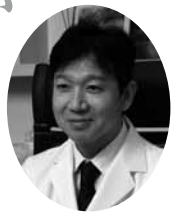


健康倶楽部



やさしい 股関節痛のはなし



狩谷哲

(かりや・さとる)
1994年金沢医科大学
卒業後、昭和大
学整形外科学教室
入局。関連施設
勤務後、米国の
アクンダーソン
クリニック留
学、関節置換術
の権威である
チャールズ工
関博士のもと
で人工関節学
を学ぶ。2010
年石務部基
実クリニック
11年副院長に
就任。

Q

主治医から人工股関節手術を勧められ
ています。そこで、
どのドクターに頼めばよいのか、
どこの病院に行けばよいのかわ
かりません。何かアドバイスを
お願いします。

A

時々このような質
問を受けることがあ
りますが、よい病
院・よいドクターの定義は、人
それぞれなのではないでしょ
うか。
最新の設備を整え、大規模な
病院をよい病院だと思っても
れば、設備や規模は問題ではな
く、患者さんの目線に立って、
適切なアドバイスをしてくれる
やさしいスタッフがいるところ
がよい病院だと思う方もいらっ

しゃるでしょう。何を求めているのかによってよい病院・よいドクターの定義は変わってくるのかもしれませんが。
しかし、よい病院・よいドクターの普遍的な判断材料として私が考えるものの一つに、手術件数があります。手術件数が多いということは、それだけドクターの技量のみならず、周りのスタッフも熟練しており、経験値が高く、専門性も高いと言えるのではないのでしょうか。
まずは、じっくりとドクターと話し合い、信頼できると感じるドクターやスタッフを探すことから始めてみてはいかがでしょうか。

また、患者さんご自身も事前に情報を集め、納得がいくまで調べ、信用できる病院を探し、受けたい医療を受けられるように医師と交渉する力も患者力も重要なポイントといえるでしょう。ホームページなどで『正しい情報の公開』をしている病院も、よい病院・よいドクター選びの基準の一つになるかもしれません。
私の連載は今回で最後になりました。質問をお寄せいただいた皆様、毎月コラムを楽しみに読んでくださった皆様、ありがとうございました。皆様が痛みのない充実した毎日を送ってくださることを願ってやみません。